１．件名：原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談（7）

２．日時：令和 6 年 1 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分

３．場所：原子力規制庁 10 階南会議室（対面及び TV 会議により実施）

４．出席者：

原子力規制庁

原子力規制部　審査グループ　研究炉等審査部門

荒川安全管理調査官、伊藤主任安全審査官、真田主任安全審査官、
本多主任安全審査官、立元管理官補佐、秦安全審査官、
大塚安全審査専門職、澁谷安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部　バックエンド推進部　主幹　他１名
廃止措置推進室　室長
廃棄体化推進室　室長　他１名
埋設事業センター　センター長　他２名

安全・核セキュリティ統括本部　安全管理部　課員

経営企画部　部員

人形峠環境技術センター　廃止措置・技術開発部　部長　他１名
計画管理室　室長
ＵＦ６対策推進室　主幹

５．要旨

（１）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、次回の第 8 回原子力機構バックエンド対策監視チーム会合における議題の案について、資料に基づき説明があった。

（２）原子力規制庁から、以下の点を伝えた。

・次回の面談までに、廃止措置を進めている 45 施設の廃止措置の進捗状況一覧表を更新するとともに、本年度の成果のうち、第 7 回会合（令和 5 年 8 月 30 日）で説明のあったモデル事業の現状、今後の予定を報告すること。

・人形峠環境技術センターの加工施設（ウラン濃縮型プラント）及び使用施設（濃縮工学施設及び製錬転換施設）の廃止措置について、次年度計画並びにその後の中長期的な課題及び当該課題に対する進捗状況も分かるよ

う資料を見直すこと。

・また、今後の課題としていたUF_6の譲渡しについて、進捗状況を説明すること。また、譲渡しに伴い必要となる新たな設備の設置等について、今後の許認可申請予定を含めたスケジュールを説明すること。

（３）原子力機構から、今回の面談を踏まえ対応する旨の発言があった。

６．その他

資料１：原子力機構の廃棄体製作及び廃棄物埋設に関する意見交換について

資料２：人形峠環境技術センターの廃止措置状況

資料３：廃止措置の実施状況と今後の見通し

以　上